

★私が此の作品(「白日夢」)を創作した頃は、検閲その他の政治的、社会的制約が強く、その為、思ふ存分に書く事が出来なかった面も多い。武智君のシナリオは、その点、今の私なら恐らくかう書いたであらうと思ふくらゐ、完璧な出来栄である。

谷崎潤一郎

(『白日夢』(64)冒頭の言葉より)

★『白日夢』の本番は今の本番より百倍の価値がある。 *ジョージヤン*
(イラストレーターなど)

★形而上クソ喰らえ! 形而下バンザイ!
.....無間矢鱈に執拗な欲望垂れ流し
でもって、武智はそう言っているよ
うに聞こえるのだが。

★武智さんはいい意味で“不気味”な人。これから何が
出るかわからない不気味さを持っている。好奇心が
続々と湧いてきて、それを実行に移していったんだ。(映画監督) **新藤兼人**

ミルクマン齊藤

(映画評論家)

★もし『実験』に“骨”があるとするならば、“実験の骨の髄”まで
しゃぶり尽くしたのが武智鉄二であるっ!!!!!!

武智の作品を鑑賞した後、新陳代謝が活発になるのは、『映画』からコラーゲンが滴り
おちているからなのだっ!!!!!!

宇川直宏

(京都造形芸術大学コミュニケーションデザイン学科教授)

★底抜けに純情な映画作りへの挑戦と、性表現に託した日本告発の果敢さに感動して、私は改めて武智鉄二という人が
大好きになった! **白井佳夫** (映画評論家)

★エロか芸術か、はたまたただの興味本位か。
見るものを煙にまく、武智美学の摩訶不思議。

山田広野

(活弁映画監督)

★武智さんは、芸術家として素晴らしい人だ。
古典という、しっかりした土台があり、その
伝統の殻を破って、新しいものに挑戦された。
表現の自由に対して、共に戦った仲間でもある。(映画監督) **大島渚**

●自由席・定員入替制/整理券制 ニュープリントにて上映(ただし『白日夢2』は除く)

	11:15	13:45	16:15	18:45	21:15
10/28(土)	白日夢(81)	白日夢(64)	華魁	白日夢2	女・女・女物語
10/29(日)	白日夢(81)	白日夢(64)	華魁	白日夢2	女・女・女物語
10/30(月)	白日夢(81)	白日夢(64)	華魁	白日夢2	女・女・女物語
10/31(火)	白日夢2	黒い雪	女・女・女物語	華魁	白日夢(64)
11/1(水)	白日夢2	黒い雪	女・女・女物語	華魁	白日夢(64)
11/2(木)	白日夢2	黒い雪	女・女・女物語	華魁	白日夢(64)
11/3(金)	白日夢2	黒い雪	女・女・女物語	華魁	白日夢(64)
11/4(土)	華魁	女・女・女物語	浮世絵残酷物語	戦後残酷物語	黒い雪
11/5(日)	華魁	女・女・女物語	浮世絵残酷物語	戦後残酷物語	黒い雪
11/6(月)	華魁	女・女・女物語	浮世絵残酷物語	戦後残酷物語	黒い雪
11/7(火)	白日夢(64)	紅閨夢	源氏物語	浮世絵残酷物語	白日夢(81)
11/8(水)	白日夢(64)	紅閨夢	源氏物語	浮世絵残酷物語	白日夢(81)
11/9(木)	白日夢(64)	紅閨夢	源氏物語	浮世絵残酷物語	白日夢(81)
11/10(金)	白日夢(64)	紅閨夢	源氏物語	浮世絵残酷物語	白日夢(81)
11/11(土)	戦後残酷物語	白日夢(81)	浮世絵残酷物語	源氏物語	紅閨夢
11/12(日)	戦後残酷物語	白日夢(81)	浮世絵残酷物語	源氏物語	紅閨夢
11/13(月)	戦後残酷物語	白日夢(81)	浮世絵残酷物語	源氏物語	紅閨夢
11/14(火)	黒い雪	紅閨夢	源氏物語	戦後残酷物語	白日夢(81)
11/15(水)	黒い雪	紅閨夢	源氏物語	戦後残酷物語	白日夢(81)
11/16(木)	黒い雪	紅閨夢	源氏物語	戦後残酷物語	白日夢(81)
11/17(金)	黒い雪	紅閨夢	源氏物語	戦後残酷物語	白日夢(81)

※10/28『白日夢』(64)上映後トークイベントあり

10.28 sat シアター・イメージフォーラムにて大特集!

前売1回券1,200円/3回券3,000円 当日:一般1,600円/学生1,500円/3回券3,000円(いずれも税込)

JR渋谷駅より徒歩5分。宮益坂上がり、青山通りスターバックス脇に入る TEL.03-5766-0114 <http://www.imageforum.co.jp>



唐沢俊一氏(評論家)vs快楽亭ブラック師匠(落語家)
によるトークバトル開催!!

10/28(土)13:45『白日夢』(64年版)終了後を予定

「トンドメモ一行知識の世界」著者としてテレビ・ラジオ等で活躍中の評論家・唐沢氏と、
放送禁止用語連発の過激なネタで知られ、自他ともに認める日本一の日本映画通で
ある快楽亭ブラック師匠が武智映画について熱いトークを繰り広げる!!

★初日来場プレゼント★初日にご来場のお客様先着200名に、健康サプリメント「シーブリン」をプレゼント! 脳の働きを活性化させるDHA配合で、“美の改革”を体感しよう!! (提供: (株)南風)

TAKECHI TETSUJI

美の改革者 武智鉄二全集

THE COMPLETE WORKS OF TAKECHI TETSUJI

黒い雪 (65) 白日夢 (64) 白日夢 (81) 紅閨夢 (64) 日本の夜女・女・女物語 (63) 源氏物語 (66) 戦後残酷物語 (68) 浮世絵残酷物語 (68) 華魁 (83) 白日夢2 (87)

谷崎 × エロス × アヴァンギャルド



ARTWORK BY UKAWA NAOHITO

芸術かワイセツか!?

こんな映画みたことない!!

Who is TAKECHI TETSUJI??

1960年代、「表現の自由」がまだ表面的なものでしかなかった時代に、反米・反戦を唱え全力で権力と闘った熱き映画作家であり、80年代には「真の性の解放」を徹底的に追求し、世間を騒然とさせたスカンダラスな映画作家 武智鉄二。在日米兵の実態を描き、猥褻裁判を引き起こした『黒い雪』では三島由紀夫、大島渚ら知識人たちが証言台に立たせたことでも大きな話題を呼ぶ。そして、谷崎潤一郎の戯曲の映画化で、エロスの極限を追求して大ヒットを記録した『白日夢』(64)と、そのリメイクで、『愛のコリーダ』(76/大島渚監督)に次いでハードコア撮影を敢行し大ヒットを記録した『白日夢』(81)。やはり谷崎の2短篇をミックスして映画化した異色の芸術作『紅閨夢』。それらの作品は、「ヌード能」などに代表される、古典芸能を大胆にアレンジした彼の作品がしばしばスカンダラスな話題を伴って迎えられたように、公開当時の観客の度胆を抜いた。どれもエロスの美に満ち、それは表現の限界への挑戦であった。

1912年、大阪市に生まれた武智は、第二次大戦後、関西で武智歌舞伎を創始。歌舞伎、能、義太夫、オペラなど古典芸能全般に精通し、演出家にして、高度な演劇理論家として多数の著書を遺した巨匠であり、古典芸能界では絶大な存在感を保持していた。二代目中村扇雀、五代目中村富十郎、市川雷蔵ら多くの人材を育てた稀有の存在としても高名である。88年膀胱がんのため死去。

そして今、計10作品を上映する本特集で、「はやすぎた天才」武智鉄二の映画世界の真価が初めて明かされる！
「谷崎にとっては困った弟子」？「映画製作は金持ちの道楽」?? 武智によって花開いた美の改革を、今わたしたちは目撃する!!



◎フィルモグラフィ (特記以外は監督作品)

1963年 日本の夜 女・女物語、母(新藤兼人監督)出演	1968年 戦後残酷物語	1981年 白日夢
1964年 白日夢、紅閨夢	浮世絵残酷物語	1983年 華魁、高野聖(日本未公開)
1965年 黒い雪	1972年 讃歌(新藤兼人監督)出演	1987年 白日夢2
1966年 源氏物語	1973年 スキャンダル夫人	

黒い雪 1965年(第三プロ)/89分/白黒



■監督・脚本：武智鉄二／撮影：倉田武雄／音楽：湯浅譲二、八木正生／美術：大森 実
■出演：花ノ本 寿、村田知栄子、紅千登世、花川蝶十郎

鮮烈なエロティシズムで常に騒然たる話題を巻き起こした武智監督が、米軍基地周辺にうごめく“女たち”を鋭いタッチで描いた衝撃的作品。公開と同時に「わいせつ図画公然陳列罪」に問われ、彼の弁護には三島由紀夫や大島渚が立ち上がり、見事無罪を勝ち取る。しかし、その後の映倫審査のあり方に対し大きな波紋を残した作品となる。全裸で米軍基地を疾走する少女のシーンは後に伝説的ともなった。

はくじつむ 白日夢 1964年(第三プロ)/94分/白黒



■原作：谷崎潤一郎／企画・脚本・監督：武智鉄二／製作：長島豊次郎／撮影：荻沼正義／音楽：芝 祐久、牧野昭一／美術：芥川 敏
■出演：路 加奈子、石浜 朗、花川蝶十郎

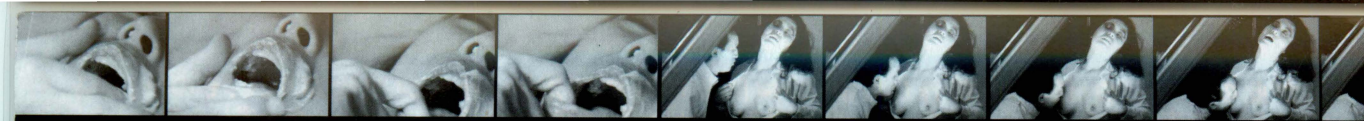
谷崎潤一郎が戦前発表した戯曲の映画化。歌舞伎、舞踊、能、オペラなどで前衛的な創作活動を行い注目されていた武智が、はじめて劇映画に取り組んだ野心作。原作は歯科医で起こる恐怖を描いたものであるが、映画では居合わせた絶世の美女に恋焦がれた青年が、歯の治療中に失神して夢の中で医師と美女の異常な情事を見るという大胆な脚色を加えた。主演にはアメリカの財閥の娘で日伊の混血児、路加奈子が抜擢され抜群のプロポーションを披露。映画の配給権をめくって邦画4社が争奪戦を演じ、公開時には大ヒットを記録した。

はくじつむ 白日夢 1981年(武智プロ)/110分/カラー



■原作：谷崎潤一郎／監督・脚本：武智鉄二／製作：池 俊行、前田有行／撮影：高田 昭／音楽：芝 祐久／美術：小澤秀高
■出演：佐藤 慶、愛染恭子、勝然武美、川口小枝、殿山泰司、茂山千五郎

前作『白日夢』から17年後、古びない谷崎潤一郎の世界を、よりハードに描いたリメイク版。武智は“墮落”をテーマにすることによって、人間の可能性、性の真なる解放を問ひかけようとしている。モデルからロマンポルノの女優になった愛染恭子がヒロインに抜擢され、日本舞踊、発声、体操、ジャズダンスなどの特訓を重ね、大役に挑んだ。ドクトル役は、大島渚作品などのベテラン、佐藤慶。二人のハードコアでの強烈で耽美なファック・シーンは当時大きな話題となり、女性客も得て大ヒットを記録した。



こうけいむ 紅閨夢 1964年(第三プロ)/75分/カラー



■原作：谷崎潤一郎／企画・脚本・監督：武智鉄二／製作：長島豊次郎、池 俊行／撮影：稲葉 直／音楽：芝 祐久／美術：平高主計
■出演：芝山千之丞、川口秀子、川口秀延

『白日夢』に続く武智監督の作品で、やはり谷崎潤一郎の「過酸化マンガン水の夢」「柳湯の事件」を武智が脚色。物語は、登場する作家の一人称の形をとっている。この映画でも、その当時エロス表現が大きな話題を集めた。暗黒舞踏の創始者・土方巽が特別出演。

日本の夜 女・女・女物語 1963年(佐野芸術プロ)/78分/カラー



■演出：武智鉄二／製作：佐野博重／脚本：キノ・トール、萬 達治／画面構成：早田雄二、稲村隆正／撮影：芥川和敏／音楽：竹村次郎

当時の女性風俗を余すところなく描いたドキュメンタリー。内容は、以下のようなもの。ヌード能。幽玄な日本古来の芸術をヌードで演出し、演劇界に一大ショックを与えた問題の武智作品。女レスラーやゲイボーイたち。娘たちが裸になったのアパート遊び。その他、ストリッパー、女按摩、祇園の芸者、ファッション・モデル、尼僧、麻薬中毒の女、トルコ風呂の女、刺青の女、ビールの女王など、ありとあらゆる女性の生態、姿態が、色彩豊かに、洗練された感覚で描かれている。武智の監督デビュー作で、今見るとキッチュな異色作。

源氏物語 1966年(源氏映画社)/111分/カラー



■製作・脚本・監督：武智鉄二／技術監督：芥川和敏／撮影：渡辺静郎／音楽：芝 祐久／美術：大森 実
■花ノ本 寿、浅丘ルリ子、花川蝶十郎、志賀山 章、芦川いづみ、紅 千登世、山本陽子

妖しくも繰り広げられる絢爛の絵巻物を素材に、武智自身が製作、脚色、監督。紫式部が創造した、日本文学史上最も有名なプレイボーイ・光源氏の華麗で赤裸々な女性遍歴を、丹念に描いていく。浅丘ルリ子、芦川いづみ、山本陽子ら豪華な俳優陣を揃えたことも話題だった。

戦後残酷物語 1968年(武智プロ)/87分/白黒



■原作：小野年子、五島 勉／脚本・監督：武智鉄二／製作：芥川和敏／撮影：高田 昭、杉村博章、伊藤正治、鈴木健治／音楽：西辺 竜
■出演：路 加奈子、剣持伴紀、紅 千登世、有沢正子、小畑通子、李麗仙

小野年子と、後に「ノストラダムスの大予言」で大ブレイクする五島勉の同名小説を、武智が脚色、監督。小野年子の体験をもとに、彼女の肉体が泥沼の中を転げ回るように生きた生涯を映画化した作品である。心ならずとも娼婦として生きていく道しか残されていない年子は、転落する人生を進んでいく。物語は、すべて事実に沿って作られた点特徴でもあり、リアルに迫真性あふれるショッキングな画面に仕上げられた。公開後は、大ヒットを記録した。

浮世絵残酷物語 1968年(武智プロ)/84分/カラー



■原案：羽黒重介／監督・脚本：武智鉄二／製作：沖山貞雄、長島豊次郎／撮影：深見征二郎／音楽：芝 祐久／美術：長倉しげる
■出演：刈名珠理、辰巳典子、小山源喜、宇佐美淳也、小林重四郎

前年に公開され、大ヒットを記録した『戦後残酷物語』に次ぐ武智残酷シリーズ第二弾である。浮世絵の世界をバックに、妖しく、激しく騒いあげる武智が捉えた残酷描写とセックス。神秘と恐怖の連続で、エロティシズムと残酷を非情なまでにえぐり出した作品。芸術のためには、自分の娘を弟子に抱かせる浮世絵師に、芸術への異常な執着心追求した武智の世界観が見事に現れている。また、実在の浮世絵師・宮川長春にスポットをあて、随所にその絵が映し出されているのも特色。

おいらん 華魁 1983年(武智・小川プロ)/113分/カラー



■監督・脚本：武智鉄二／製作：小川益生、前田有行／撮影：高田 昭／音楽：宮下 伸／美術：小澤秀高、小林 巧
■出演：親王塚貴子、夕崎 碧、梓 こずえ、川口小枝、真柴さとし、伊藤 高、殿山泰司

谷崎潤一郎の「人面疽」に原作を求めた絢爛たる風俗絵巻。明治の半ば、舞台は長崎の遊廓。男女それぞれが好きなスタイルで性の歓喜をむさぼりあう姿。当時の郭の風俗は歌舞伎の世界。“武智歌舞伎”の創始者たる武智鉄二監督にとっては最も得意とするところ。「一二四手、セックスのあれこれ、すべてをおめにかけます」という当時のコメントにあるように、『白日夢』(81)を超えるスケールのハードコア大作である。美醜表裏一体となった妖しくも激しい“愛”を華麗にして生々しい“性”を背景に描いた。

はくじつむ 白日夢2 1987年(第三プロ)/90分/カラー



■監督・脚本：武智鉄二／製作：芥川和敏／撮影：杉村博章／音楽：芝 祐久／美術：丸尾知行
■出演：愛染恭子、霧浪千寿、速水健二、菅 貴太郎

センセーショナルな話題とともに大ヒットした『白日夢』から5年。武智鉄二監督が、さらにハードに耽美の世界を描いた続編。武智監督自ら「最後のハードコア」と語るこの作品は、より過激なSM描写と官能に満ちたものとなった。前作のヒロイン・愛染恭子と新人・霧浪千寿が主演し、そして、ビデオ界の性豪・速水健二が共演している。

